

器具の取り付けかた

取り付ける前に

- 天井にこのような配線部品がついている場合は、器具が取り付けられます。



必ず守る

- 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

※工事には資格が必要です。

アダプタの取り付け

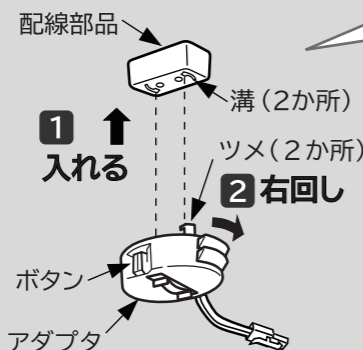
1

- 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ってください。

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

2

- 配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れてください。また、必ず同梱しているアダプタを使用してください。



3

- 右方向にいっぱいまで回してください。ロックが掛かり固定されます。



必ず守る

- 器具の取り付けの際は、電源を切る。

※電源を切らないと、感電の原因となります。

アダプタの取り外しかた

- ボタンを押しながら、左方向へ回してください。



必ず守る

- 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

本体の取り付け

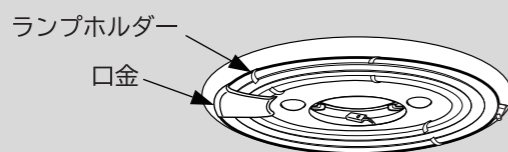
4

- 蛍光灯を固定しているテープをはがしてください。

※蛍光灯に無理な力を加えない。破損によるケガや、故障の原因となります。

5

- 蛍光灯が確実に取り付けられているか、確認してください。



必ず守る

- 本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない。

※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。

リモコンご使用上の注意

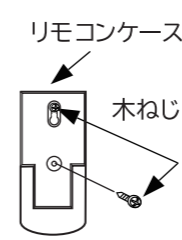
- 壁スイッチはONにしてご使用ください。
- リモコンは必ず器具に向けて操作してください。
- リモコンと器具の間にしゃへい物があると、器具が動作しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。
- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが動作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づいてリモコン操作をしてください。
- ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。その場合は、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 温度が高くなる物の上や湿気が多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。

リモコンケースの使いかた

- リモコンを無くさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

取り付けかた

- リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本でしっかり取り付けてください。



- リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。



壁スイッチの操作

壁スイッチで次のような操作ができます。

点灯状態を切り替える

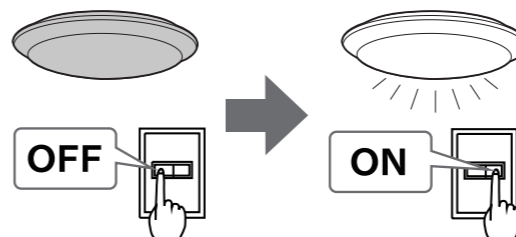
壁スイッチがONの状態、1秒を目安にOFF → ONすることで、器具の点灯状態を切り替えることができます。

ただし、1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。

- 節電ボタン、明るさ(暗 明)ボタンで操作後、切り替え操作をすると LED保安灯に切り替わり 全灯⇒お好み⇒LED保安灯と、繰り返し切り替わります。
- 節電ボタンの節電は解除されます。

点灯・消灯

- 壁スイッチをOFFにして外出し、帰宅後、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯状態になります。



スイッチを交互に OFF → ON する (1秒をめやす)

全灯

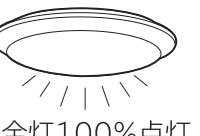
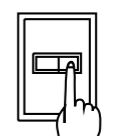
お好み

LED保安灯

明るさ(暗 明)、節電ボタンの点灯状態

便利な使いかた

- リモコンで消灯 (壁スイッチは ON のまま)
- OFF にした後、1秒めやすに再度 ON



ご注意

- 壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態の切り替えはできません。

お好みボタンの使いかた

蛍光灯を設定した明るさで点灯します。

- 設定のしかた

1

全灯
または
お好み

ボタンを押し、蛍光灯を点灯させる

2

明るさ

ボタンを押し、お好みの明るさにする

3

お好み

ボタンを押す(明るさ記憶)

※設定変更も、上記の手順です。

節電ボタンの使いかた

- その時の、蛍光灯の点灯状態での消費電力から、約15%の消費電力を節電します(明るさも変わります)。

ただし、続けて節電ボタンを押した場合、電子音は鳴りますが、さらに節電はしません。

- 明るさと消費電力の比率は同じとは限りません。

※お好み、全灯、消灯、明るさ(暗 明)、LED保安灯のボタンを押すと、節電は解除されます。ただし、明るさ(暗 明)ボタンを押した場合は、節電時の明るさからの調整となります。